

協議会の活動

活動紹介

「新しい東北」交流会inいわきを開催しました。

平成27年11月7日（土）に「新しい東北」フォーラムinいわきを福島県いわき市のスパリゾートハイブンで開催しました。当日は、基調講演や団体によるミニトーク、専門家による商品アドバイスやインバウンドの取り組みに向けたセミナーの実施、33の企業・団体の取組を紹介いただくブース展示を行い、約130団体から約300名の方にご来場いただきました。

開催場所はこちら

まちの魅力を取り戻すために、被災地では、安心して暮らせる「コミュニティの形成」、生活の糧となる「産業・生産の再生」を進めたいための「新たな挑戦」が進んでいます。今回の交流会では、「産業・生産の再生」「観光振興」を主とするテーマとして、地域に根差した企業の経営者の方による基調講演や「新たな挑戦」に取り組む企業・団体によるミニトーク、専門家による商品アドバイスやインバウンドの取り組みに向けたセミナーの実施、33の企業・団体の取組を行いました。

オーパニシスでは、若松義興副大臣からの挨拶の後、福島県副知事、清水いわき市長からご挨拶を頂きました。若松義興副大臣からの挨拶の後、福島県副知事、清水いわき市長からご挨拶を頂きました。関係者の情報はJRとバスでの移動を中心に、JRとまとりいわきのファームを駆使して、地域にしかなれない魅力の発掘と発信、復興風評被害への取組に力を入れています。今回の交流会では、「産業・生産の再生」「観光振興」を主とするテーマとして、地域に根差した企業の経営者の方による基調講演や「新たな挑戦」に取り組む企業・団体によるミニトーク、専門家による商品アドバイスやインバウンドの取り組みに向けたセミナーの実施、33の企業・団体の取組を行いました。



その後、有限会社まとりいわき専務取締役 元木寛氏、常磐興産株式会社 相談役 斎藤一彦氏のお二人に基調講演「産業・生産の再生」に向けた「新たな挑戦」に登壇いたしました。

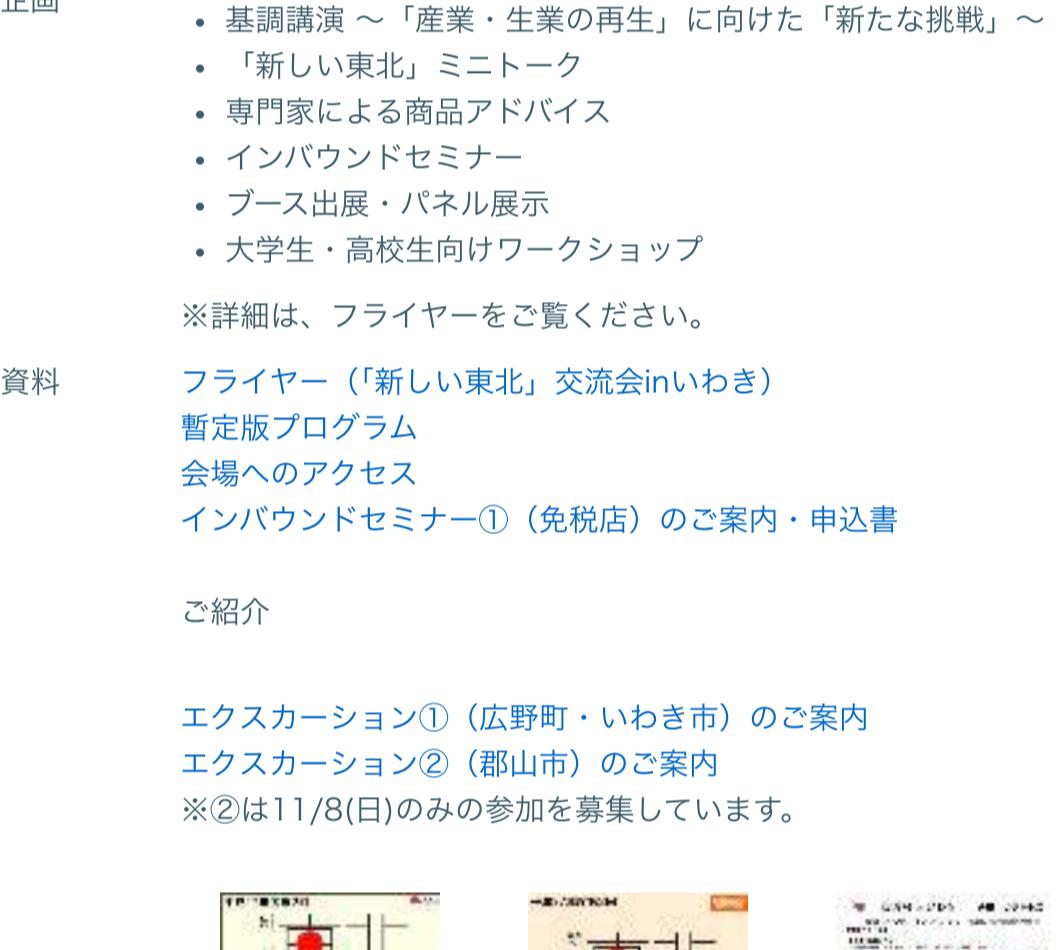
元木専務（有限会社まとりいわき）から「食・農・地域と街を結び切ける地域活動への取組について」というテーマで、「現在、進めてるJRとまとりいわきのファームを駆使して、地域にしかなれない魅力の発掘と発信、復興風評被害への取組に力を入れています。今回の交流会では、「産業・生産の再生」「観光振興」を主とするテーマとして、地域に根差した企業の経営者の方による基調講演や「新たな挑戦」に取り組む企業・団体によるミニトーク、専門家による商品アドバイスやインバウンドの取り組みに向けたセミナーの実施、33の企業・団体の取組を行いました。

その後、有限会社まとりいわき 常磐興産副社長 清水いわき市長からご挨拶を頂きました。若松義興副大臣からの挨拶の後、福島県副知事、清水いわき市長からご挨拶を頂きました。

その後、有限会社まとりいわき 常磐興産副社長 清水いわき市長からご挨拶を頂きました。若松義興副大臣からの挨拶の後、福島県副知事、清水いわき市長からご挨拶を頂きました。



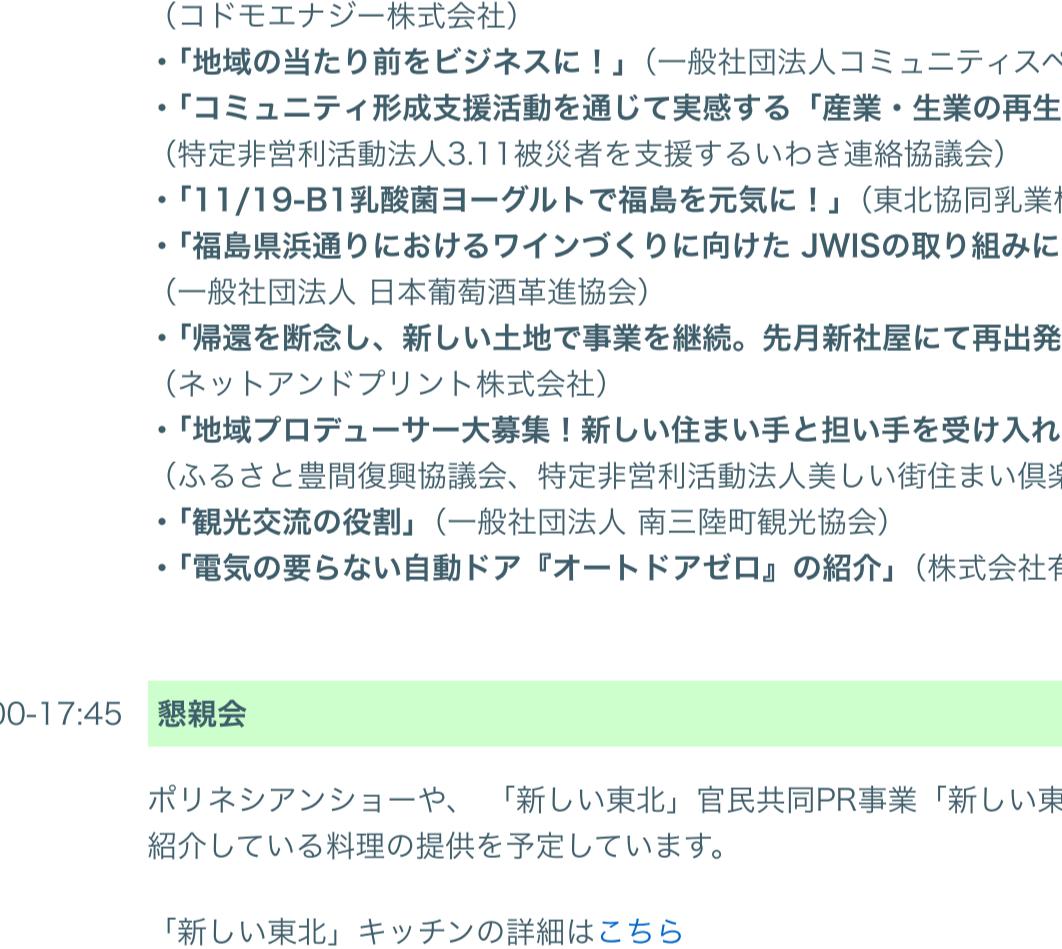
ミニトークでは、今回のテーマである「産業・生産の再生」「観光振興」を取り組む企業・団体の皆さんから、各自の取組についての話などをお話しいただきました。また出展ブースでの情報交換などを含めていただきました。ミニトークの最後には、別会場で実施した学生ワークショップ「観光で災害地を元気に！」へみんなで考える復興ソーシャム～に参加した学生の代表者2名から、ワークショップを取りまとめた提案の報告も行われました。



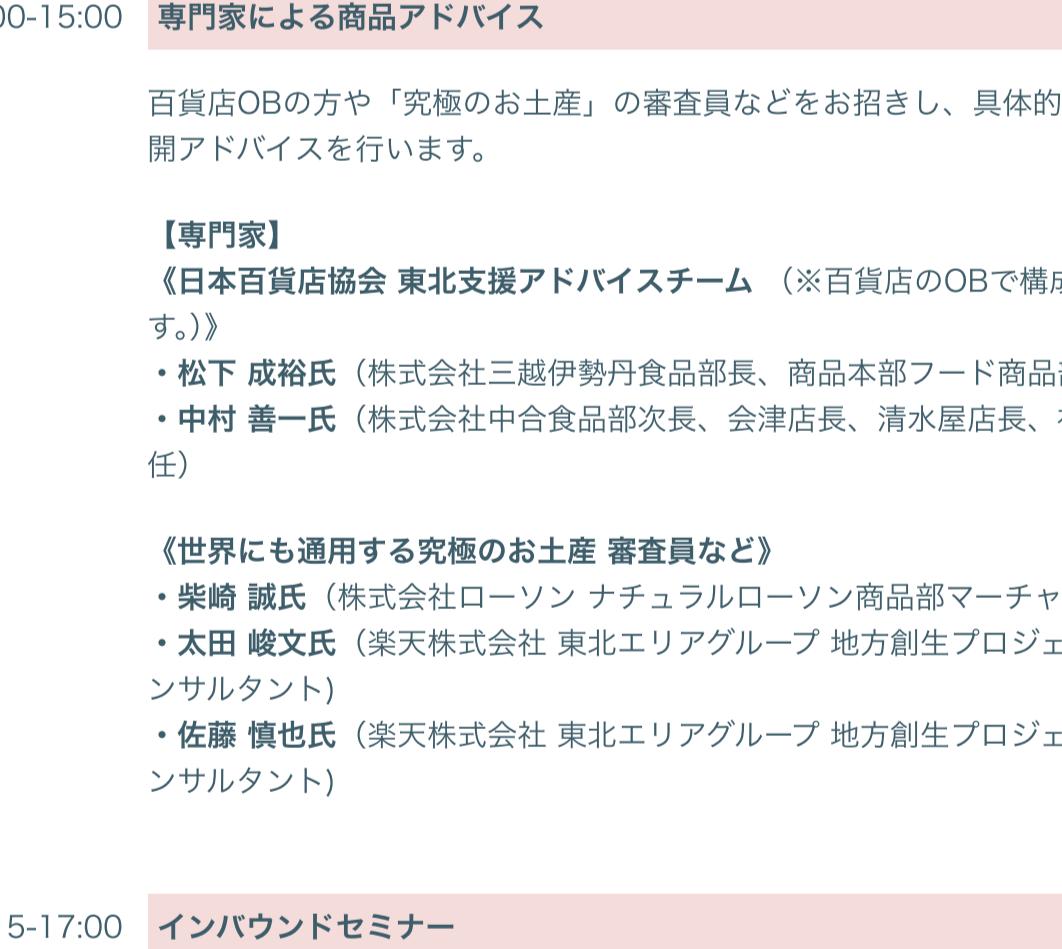
会場内の特別企画エリアでは、商品をいかにして棚に並べて売らうかのポイントについて、専門家の方々から実際の商慣習に対するアドバイスを貰ったことを指摘した上で、「来場者の皆様には積極的に情報交換、意見交換をしていただきたい」と述べました。今回の交流会をきっかけとして、復興に向けた新たな展開が生まれることを大いに期待しているとの挨拶がありました。福島県副知事からは、「いわき市はもうひと歩進んだ地元である。今回の交流会がネットワークや絆を深める会になつてほしい」とご挨拶をいただきました。



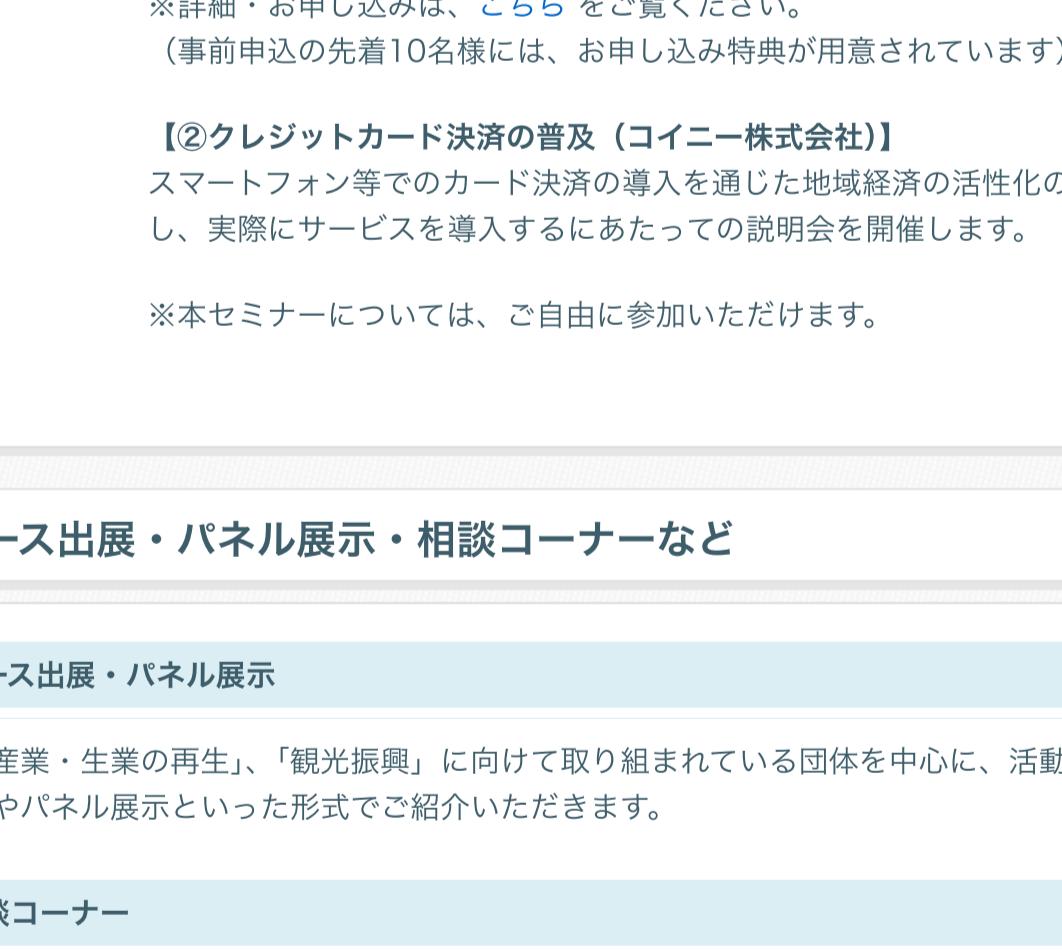
また、今回は「産業・生産の再生」「観光振興」に取り組む33の企業・団体の方々にブースをご出展いただきました。試乗などができるブースもあり、実際に作った商品を参加者に味わってもらうことなどを通じて、現場でのフィードバックにつなげていく姿が会場の随所で見受けられました。



展示エリアでは、その他、「新しい東北」官民共同PR事業で行われた東北を代表するお土産を発表するコンテスト「世界にも通用する究極のお土産～新しい東北の挑戦～」について、東北6県から募集のあった96の商品から第1次審査を通過した112商品のうち、40商品の商品を展示了しました。東北の魅力的な商品を多くの参加者の方に見ていただけたことが出来ました。なお、究極のお土産については、9月14日に東京で最終審査が行われ、究極のお土産10品が選定されています。



展示会の最後に、参加者がまとりいわきのブースの出展者、学生ワークショップに参加された学生の皆さんとが、交流をする懇親会を行いました。懇親会では、フジタジン甲子園優勝校家庭カラマツ フジタジン アロマミノアによるフラダンスを披露されました。また、東日本大震災を含む幾度の経営の転換点において、当たる前のことを振り返りながら、その経験を語りました。また、東日本大震災を含む幾度の経営の転換点において、当たる前のことを振り返りながら、その経験を語りました。その後、福島の地元の声を堪能しました。

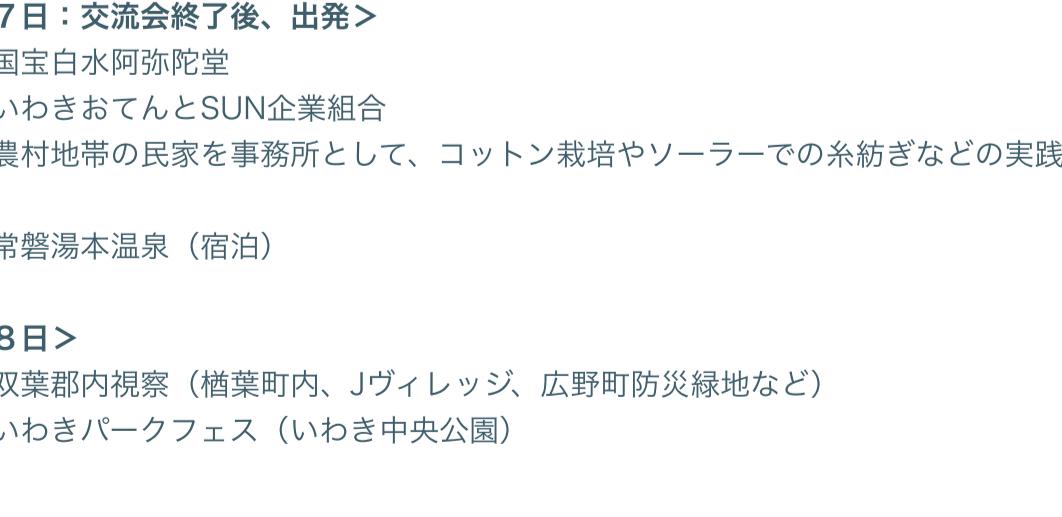


展示会の最後に、参加者がまとりいわきのブースの出展者、学生ワークショップに参加された学生の皆さんとが、交流をする懇親会を行いました。懇親会では、フジタジン甲子園優勝校家庭カラマツ フジタジン アロマミノアによるフラダンスを披露されました。また、東日本大震災を含む幾度の経営の転換点において、当たる前のことを振り返りながら、その経験を語りました。その後、福島の地元の声を堪能しました。

最後に、スパリゾートハイブン様のご厚意でフラガールによるパリセイダンスショーを実施していただき、ダンサーへのインタビューを行うなど、盛会のうちに終了しました。



参考資料 [開催報告はこちら](#)
「新しい東北」キッチンレシピ・食材のご紹介



※詳細なご紹介は、(事前申込)の先頭に記載されています。お申し込み特典が用意されています。

開催概要

日時 平成27年11月7日（土）13：00開始 17：45終了（予定）

場所 百貨店OBの方や「究極のお土産」の審査員などをお招きし、具体的な商品について公開アドバイスを行います。

アグリセスはこちる

※詳細なご紹介は、(事前申込)の先頭に記載されています。お申し込み特典が用意されています。

主な企画 [基調講演～「産業・生産の再生」に向けた「新たな挑戦」～](#)

「まちの魅力」を取り戻すため、地域資源を生かした様々な特色ある取り組みが行われています。

ここででは、以下の2名の経営者から、成功事例のノウハウや、今後の課題について、お話をいただきます。

【登壇者】 斎藤一彦氏（常磐興産株式会社 相談役）・元木寛氏（有限会社まとりいわき 専務取締役）

開催概要

開催概要